

みえ高校生県議会 質問と答弁の概要 (令和6年8月21日)

学校名 質問項目	質問の概要	答弁の概要	答弁者
<p>相可高等学校</p> <p>『地域の食文化を幅広く知ってもらうために』</p>	<p>本校がある多気町には、伊勢いもや、おきん餅、次郎柿など、地域住民だけが知っていて他地域ではあまり知られていない、魅力的な特産品が多くある。多気町に限らず他の地域でも同じようなことはあるのではないか。三重県の文化を振興させるためにも食文化に対する探求をしていくべきではないか。</p> <p>本校では、授業の一環として、地域企業等と連携して多気町の特産品の良さを伝える取組をしている。例えば、生徒が実際に事業所の方に話を聞いて、特産品への思いや多気町への愛が詰まったチラシを作成し、多気町ふるさと納税で納税して頂いた方に特産品とともに送付している。</p> <p>この取組を通して、地域への愛はもちろん、地域住民との関係が深まり、魅力的な特産品をもっと知ってほしいという気持ちが強くなった。同様の取組を県内で増やし、<u>(魅力的な特産品が) 県内や地域内にとどまらず、全国でも知名度が上がるようになればいいと思う。</u></p> <p><u>県では文化振興にどのような取組が効果的と考えているのか、もしくは現在行われている対策を教えてください。</u></p>	<p>県では、県産農林水産物の販路拡大を図るとともに国内外に三重の魅力を発信するため、大都市圏のラグジュアリーホテルやレストラン等において、三重の食材として知名度の高い食材をはじめ、伊勢いもなどの地域の特徴的な食材を使った料理の提供等を行う「三重県フェア」を開催し、「みえの食」の認知度向上に取り組んでいる。</p> <p>そのほか、委員会の所管は異なるが、特徴ある優れた県産品を公募し、食に精通した有識者による審査をふまえ、「みえの食セレクション」として選定する取組を行っている。選定した商品はカタログやフェアの開催などによるプロモーション活動の展開や、認知度向上と販路開拓の支援を行い、現在 175 品が選定されており、次郎柿もその一つである。</p> <p>さらに、「三重の食結び」というキーワードをもとに、パンフレットやポータルサイトを通じて三重の食文化や郷土食を紹介し、三重の食の魅力を発信する取組を行っている。</p> <p>県議会としても、県の取組がより効果を発揮し、地域の特産品や三重県産の農林水産物の魅力がしっかりと発信されるよう、調査・議論を行い、働きかけを行っていく。</p>	<p>環境生活農林水産常任委員長</p>

学校名 質問項目	質問の概要	答弁の概要	答弁者
伊勢高等学校 『森林の有効活用と意識改革』	<p>世界では1分間に東京ドーム2つ分の森林が消えている。森林の破壊は野生動物の絶滅や地球温暖化に繋がる。一方で、森林を保全することは洪水や水不足を防いだり海洋環境を豊かにしたりと様々なメリットがある。健全な森林を育むには森林の効果的な活用が必要。しかし、県にはまだ整備されていない森林があり、土砂崩れを防いだり、海洋環境を豊かにしたりという様々な森林の効能を最大限に活用できていない。</p> <p>県では、「三重の木づかい条例」があり、県産木材の利用を推進する取組など、様々な取組が行われているが、県民の森林に対する意識はまだ不足している。<u>県民一人一人が森林を大切に思い、その将来を考えるようになるためには、森林を身近に感じ興味を持つことが必要だと考えるので、3つの提案を行う。</u></p> <p>1つ目は、フォレストユーズコンテストの開催。木の実などを使って一つの作品を作り上げてもらうもので、作品の材料集めで実際に森へ入ることで森について知るきっかけになる。2つ目は、既にある県産木材を使用した工作キットのより有効的な活用。ウェブ注文や子ども向けキットの充実のほか、幼稚園や小学校でのパンフレットの配布。3つ目は、登山ウェアの貸し出し。登山に必要なもの一式を貸し出しすることで手軽に登山をすることができ、森に興味を持ってもらえるのではないか。<u>県民の森林に対する意識の底上げとしてどのような取組を行っているか。提案を参考に考えをお聞きしたい。</u></p>	<p>三重県の森林は約6割が人工林で、人の手で適切に手入れを行うことで、良質な木材が生産されるとともに、土砂崩れの防止や二酸化炭素の吸収といった公益的機能が持続的に発揮される。木を植え、育て、収穫し、また植えるという緑の循環を維持し、森林を守るためには、県産材の積極的な利用や県民の森林・木材利用に対する意識醸成が大切と考える。</p> <p>県では、県民が県産材のよさや木材を利用することの意義についての理解を深め、様々な場面で県産材の利用を進めるため、県産材を目に見える形で活用した魅力的な建築物を表彰するみえの木建築コンクールの開催や、事業者と連携した木製品のPRなどを行っている。また、森林教育として、幼稚園や小学校での森林や木材に関する出前授業や、森林教育に取り組もうとする保育所等へ専門家の派遣等を行っている。</p> <p>提案いただいた、森林を身近に感じるために実際に森に行って森について知ることや、木材を使うことの楽しさを知ってもらうことは、とても効果的である。県では、三重の森林をテーマにした写真コンテストの開催や、小学校等で、森林や木を身近に感じ楽しく学ぶ木工体験等を行っている。議会としても県民の森林や木に対する意識がさらに醸成されるよう働きかけるとともに、県の森林が守られるよう議論していく。</p>	環境生活農林水産常任委員長